

令和6年度 岡崎市立六ツ美北中学校の教育

1 校訓

「継続こそは力なり 自律こそは力なり」(継承と創造)

2 六ツ美北中学校の教育

(1) 教育目標

やりがいとやすらぎのある学校を創る

||

- ◆いつでも、どこでも、自分らしさを発揮し、あなたらしさを認め合う生徒と教職員に満ち溢れた学校
- ◆知・徳・体の調和のとれた生徒の育成をめざす学校

(2) めざす人間像

- 自他を大切にする人(恕)
- 気付き・考え・行動する人(考・挑)
- 思いや考えを伝える人(表)

(3) 指導理念

「オンリー1教育」の推進

小さな花や大きな花
ひとつとして同じものはないから
ナンバー1にならなくてもいい
もともと特別な オンリー1

「信じてもらえている」「認められている」という想いの醸成(存在感・共生の意識)

↓

「自己記録更新への確かな動きづくり」に拍車(成就感・達成感・満足感)

↓

「僕には、私には、自分なりのよさや可能性がある」の自覚(自己有用観・自己価値観)

1

(4) 経営方針

本校は、平成4年度の開校以来、今年で33年目を迎える。地域住民や同窓生の方々の本校への支援は温かく、期待も高い。本校への期待に応え、教育目標の実現のために、生徒、教職員、保護者、地域が一丸となり、さらなる六ツ美北中学校の教育の進化・発展をめざす。

特に、生徒が本校で、他（仲間・教職員・周りの人たち）との学び合いを積み重ねる中で、自他の大切さやよさに気づき、自分の将来に向けて夢や希望をもち、自分のよさや可能性を広げるよう導く。

(5) 本年度の重点努力目標

①主体的な学びに拍車をかける授業づくり

◎「共に学び 共に磨き 共に生きる～未来をしなやかに切り拓く生徒の育成～」の推進

- ・一斉講義型の授業からの脱却と追究の過程を入れた授業展開
- ・ユニバーサルデザインを意識した授業（視覚化・共有化・焦点化）
- ・AAR サイクル（見通し・行動・振り返り）の試行

②協働的につくりあげる絆づくり

- ・特別活動（学年・学校行事を含む）や道徳、総合的な学習の時間の充実
- ・PDR サイクル（準備・実行・復習/検証）
- ・過程に価値を置き、失敗は次へのステップという姿勢

③心を遣い合い、安心できる居場所づくり

- ・生徒理解に努め、個々の背景に寄り添った自立支援の充実
※外見や言動で安易に生徒を判断するのではなく、生徒が自分自身のことをどう考え、どう思っているかを分かってあげること
- ・人と比べるのではなく、今までの自分と比べる自己新記録更新型
- ・学校外部の教育環境や人材の積極的な活用によるキャリア教育の推進